

市政について問う

一般質問 (要旨)

議長・副議長及び監査委員は、その職務の性質上、一般質問を行っていません。

ペットの災害対策 ペットの防災手帳作成を

門倉 正子 (公明党)



問 災害時は、人と同様ペットも被災します。人もペットも災害への備えが必要と考えます。国は、ペットとの同行避難を推奨していますが、市の考えをお示しください。以前議会において、日頃からの備えやペットの災害対策の内容、また同行避難に必要な情報を一冊にまとめたペットの防災手帳の作成を提案しました。このような手帳は、ペットの同行避難やペットを含めた避難所運営に効果があると考えますが、進捗状況について伺います。

答 ペットの災害対策については、国と同様、動物愛護及び放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点から、避難所への同行避難を認めています。現在、ペットと飼い主のための防災ハンドブックをボランティアや社会福祉協議会、獣医師会と協力して作成中です。内容は、日頃の備えと災害時の対応についてわかりやすく記載したもので、A5判30ページ程度の小冊子を予定しています。

一般質問項目

- ①防災・減災の取り組みについて ②ペットの災害対策について ③市民の健康づくりについて

QRコード...

ホームページ上の各議員の質問動画へアクセスできます。



ハクビシン

用語解説

コロナ禍の市民体育大会 市が主体性を持った判断を

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)



問 緊急事態宣言発令に伴う不要不急の外出等の自粛が要請される中、スポーツは不要不急に当たるのか、市の解釈を伺います。また、コロナ禍において市民体育大会が開催されていますが、開催の是非を問う声が多く寄せられています。本大会の位置づけとしては、主催者は市であり、各競技団体はあくまでも当日の運営のみを担当するものです。開催の是非については、主催者である市が責任を持って判断すべきと考えますが、見解を伺います。

答 コロナ禍において、外出自粛とならない例として、屋外での運動等が国から示されており、市民体育大会についても、緊急事態宣言下において、市民がスポーツをする機会を提供することは日常生活の維持に必要と考えております。また、安全に開催することは主催者として当然責務があると認識しています。今後、他の自治体の状況等も参考にしながら、体育協会と協議をし、安全な大会運営に努めていきたい。

一般質問項目

- ①コロナ禍におけるスポーツ行政について ②ワクチンの優先接種について ③民間住宅耐震化促進事業について ④市史編さん事業について ⑤湧水量調査について

アライグマ・ハクビシン 本市も防除に取り組むべき

わたなべ 忠司 (民主・市民フォーラム)



問 都はアライグマ・ハクビシン防除実施計画を策定し、対策に取り組んでいます。その計画に基づいて近隣各市も防除に取り組んでいますが、本市は取り組んでいません。なぜ取り組まないのでしょうか。日野市では、ハクビシン等防除事業として捕獲機を設置し防除作業を行っています。他の自治体でも、事業者へ委託し、市が費用を負担して防除対応を行っている例が数多くあります。本市においても検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答 現状市に寄せられている、アライグマ・ハクビシン等に対する市民からの意見や苦情からすると、甚大な被害は発生していないと認識しています。そのため、現時点においては、駆除、防除等は行っていません。この問題は多摩地域だけでなく、東京全域の外来種に関する新たな社会問題と考えています。都の防除計画の改定が今年度行われると聞いていますので、その内容を注視する中で改めて考えていきたい。

一般質問項目

- ①鳥獣害について ②競輪事業の将来像

審議会の開催方法 市民が参加しやすい方法を

対馬 ふみあき (たちかわ自民党・安進会)



問 市民が市政に関わるには、自治会等団体を介して行う方法のほか、個人単位では公募市民として審議会に参加することができます。コロナ禍で世界的に会議のあり方が大きく変動する中で、より市民ニーズにあわせて会議の開催方法を改善する余地があると考えます。コロナ禍だから会議をオンラインや書面開催するのではなく、審議会に市民参加しやすくするために、終息後も会場での参加もオンラインでの参加も可能にしてはどうか。

答 例えば、行財政問題審議会のように、現在、対面とオンラインの併用で行っている会議もあります。対面で行わなければならないことを規則等に明記してある審議会等はほとんどなく、オンライン開催であっても出席要件を満たしていれば有効であると判断しています。今後については、委員等の意見を聞いた上で、必ずしも対面でなくても審議に支障がないということであれば、検討すべきと考えています。

一般質問項目

- ①地域防災計画について ②パーキング・パーミット制度について ③審議会のありかたについて

チャットボット

AI(人工知能)を活用した自動会話プログラム。パソコンやスマートフォンなどを使ってテキストや音声で質問すると、自動的に回答する。

市役所窓口業務の改善 チャットボットを導入しては

伊藤 大輔 (民主・市民フォーラム)



問 担当した窓口や職員の経験、知識によって市民が得られる情報に違いがある、または情報を得られない可能性があることが、調査によりわかりました。チャットボットを導入すれば、行政側にとっても、速くて正確な対応が可能になることで、より丁寧な市民対応に時間を割くことができます。また、情報を検索した市民の意向をAIがくみとって回答できることに加え、関連性の高い他の情報を提案することもできます。導入すべきと考えますが、見解は。

答 市民が情報を入手できず、必要なサービスを受けられないことは避けなければなりません。窓口に出た職員によって対応に差が出ないようにするための改善は必要です。AIを活用したチャットボットなどは一定の効果があると考えており、まずは他市の事例を研究していきます。また、AIなどの導入に向けた実証実験の事業者提案を募集しており、今後その提案の中で検討することが有効と考えています。

一般質問項目

- ①申請主義からの転換とプッシュ型情報提供の強化

CO₂センサーの設置 学校・公共施設へ早期に設置を

大石 ふみお (民主・市民フォーラム)



問 新型コロナについては、新たに変異型に対する対策が必要となりましたが、これまで同様、3密回避を継続することが最も重要です。国や都から換気の実施についての行動指針が示されていますが、換気する判断とタイミングに迷う人が多いと感じます。そこで、二酸化炭素濃度が測定できるCO₂センサーを設置することで、数値による見える化となり、的確に換気の判断が可能となるため、早期に全学校や公共施設に設置すべきと考えますが見解を。

答 学校の教室は、二酸化炭素濃度が基準値以下であるため、CO₂センサーを一律に教室等へ設置することは考えていません。必要があれば、学校の感染症対策予算で対応します。公共施設については、競輪場の選手管理棟や泉市民体育館の体育室等一部に設置していますが、その他の施設は換気ができている状況もあり、設置されていません。換気対策については、今後も周知等を図っていきたく考えています。

一般質問項目

- ①新型コロナウイルス感染症対策について ②ゼロカーボンシティの表明について ③公園施設管理運営の民間委託導入について